



研修の様子を紹介します

学級経営力向上講座：6/11(火)

幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校教諭が「学級経営力向上」という一つのテーマのもとに集い、温かい雰囲気の中で、講義、協議、実践発表等をおして意欲的に受講しました。

明治大学教授の諸富祥彦様からは、教師は「人間関係のプロフェッショナル」であり、瞬時にして誰とでもリレーション（気持ちと気持ちのつながり、こころとこころのふれあい）をつくる力を高め続ける必要があるとの助言をいただきました。

10月28日(月)に行う2日目では、それぞれが取り組んだ実践の報告と協議を行います。幼児、児童、生徒の笑顔あふれる温かい学級、子どもも大人も明日も行きたくなる学級を目指して学びを深めます。

受講者の声

リレーションづくりがいかに大切かを学びました。周りの先生との距離が縮まったことで、子どもの気持ちを体験したような気がします。どの子も安心できる学級環境をつくりたいと思いました。

うまくいかないことが様々あり、自分の気持ちが停滞していましたが、同じ志をもつ先生方とふれ合えたことで、やる気が出ると同時に、これからやるべきことも明確に見えてきました。



グループトークの様子

アントレプレナーシップ（起業家精神）を育むキャリア教育推進講座：6/26(水)

本講座は、アントレプレナーシップ教育について理解し、各学校における指導に生かす具体的方法を学ぶことを目的として、小学校から高等学校まで校種を越えた先生方が受講しました。

本県のアントレプレナーシップ教育の現状と課題についての説明の後、立命館小学校の正頭英和教諭による講義・演習、新潟大学附属長岡中学校、県立長岡商業高等学校による実践発表を行いました。グループごとで行った「たまご落とし」の演習では、「仮説」から「検証」の過程を繰り返しながら、考察しました。最後に、2回に分けて実施したグループ協議では、活発な意見交換や情報共有が行われ、受講者は、自校の実践をアントレプレナーシップ教育の視点から改善するためのヒントを得ることができました。

受講者の声

大変貴重な経験をさせていただきました。自校に還元できるように努めたいと思いますし、これからの自分自身のアップデートに役立てていきたいと思いました。

アントレプレナーシップ教育という言葉は聞いたことはあっても、詳しいことは今までわかりませんでした。今日学んだことを生かし、アントレプレナーシップ教育の視点を意識しながら教育活動をしていきたいです。



演習の様子



グループ協議の様子

前号から、当センターが行っている調査・研究テーマについて紹介しています。今回は、「情報活用能力の推進」、「キャリア教育（アントレプレナーシップ教育）」です。

情報活用能力育成の推進

Society5.0 時代、VUCAの時代を生きる子どもたちにとって、ICT環境は鉛筆やノートなどの文房具と同様に学習に不可欠なツールであり、情報や情報技術を主体的に選択し活用していく力が求められています。新潟県では、令和6年3月に「新潟県学校教育情報化推進行動計画」が策定され、教育DXにより日本社会に根差したウェルビーイングの向上を図るため、ICTを様々な学習場面で効果的に活用し、『個別最適な学び』『協働的な学び』の視点から、教育の質を向上させ、『主体的・対話的で深い学び』の実現を目指すことが示されています。

当センターでは、情報活用能力育成の育成プロジェクトチームを発足し、ICTを活用した教育の質の向上を図れるように、本計画の「児童生徒の情報活用能力体系表」を基に県内の実態を把握し、先行実践を含めた実践事例等の調査・研究を行っていきます。

教育DXによるウェルビーイングの向上

ICTを活用した教育の質の向上
⇒「主体的・対話的で深い学び」の実現

個別最適な学び

協働的な学び

【概要版】新潟県学校教育情報化推進行動計画より

キャリア教育（アントレプレナーシップ教育）

本県では、令和5年度からアントレプレナーシップ教育を推進しています。アントレプレナーシップ教育は、キャリア教育の一環として、起業家精神（チャレンジ精神、創造性、探究心等）と起業家的資質・能力（情報収集、分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等）を有する人材を育成する教育です。

これまでのキャリア教育
・先生が課題を与える
・不確実性が低い
・失敗しないように取り組む
・新たな価値が生まれにくい

アントレプレナーシップ
教育の要素が低い



これからのキャリア教育
・課題を自ら設定する
・不確実性が高い
・失敗から学ぶ
・社会へ新たな価値を提供する

アントレプレナーシップ
教育の要素が高い

（新潟県教育委員会パンフレット「キャリア教育をアップデートする～アントレプレナーシップ教育～」より）

アントレプレナーシップ教育は、児童生徒を主語に、「自ら課題を見つける」「実社会（地域）とつながる」「失敗体験から学ぶ」「社会に新たな価値を提供する」という4つの視点を大切にします。この視点をもとに従来のキャリア教育をアップデートすることで、児童生徒が自らの興味・関心や問題意識等を出発点として、地域課題や自分自身のやりたいことを見つけ、社会との関わりをもちながら課題解決に取り組む探究的な学びが実現します。

今後も、先進的で汎用性のある実践について、調査・研究を行っていきます。

お知らせ

新潟県立教育センターで実施した研修内容をnoteで発信します！

当センターで実施した研修内容を、今後は新潟県立教育センター note で紹介することとし、「新潟県立教育センターだより」では、最新の教育に関わる諸課題や、教員研修に関する情報等を定期的に提供していくこととします。

県立教育センターの note をぜひご覧ください。 https://note.com/niigata_educ/

